

## 発表内容も多種多様な内容！

100時間の研修に重みがある

日時：平成26年4月6日（日）

場所：東京／都市センターホテル



甘利佳之（東京都）

平成26年4月6日（日）2014年度新人発表会が行われ、参加・発表したのでその報告を致します。

会場は、昨年12月1日（日）日本口腔インプラント学会認定講習会修了証書を井汲憲治会長から授与された東京都千代田区平河町にある都市センターホテルで行われました。

当日は午前14演題、午後11演題、計25名による新人発表が、また、昼食後、副会長であられる中野喜右人先生による特別講演会「専門医取得のために」も行われました。

まず、「専門医取得のために」の特別講演会についてですが、認定講習会受講・終了した新人会員が最短で専門医を取得していく過程を時系列で示して

下さりました。

どのようなタイミングにどのようなことが必要で、そこまでに何をしなければならぬのか、これから専門医を目指していく新人会員にとっては非常にわかりやすかったのではないのでしょうか。

そして、メインの新人発表について。新人会員の構成は臨床経験豊富な臨床医から大学在籍の若手医局員まで様々。インプラント治療未経験の会員もあり、発表内容も症例相談から咬合や歯周病治療を含め総合的な治療まで多種多様な内容がありました。その都度、会員の座長からプレゼンテーションの作成方法・構成、実習で習った写真の撮影の復習や使用カメラの機種や設定値など事細かく





指示が行われ、また、症例に関しても会場の参加会員の先生方から適切なアドバイスが随時もたらせられました。

私自身、やはり認定講習会後の発表ということもありその発表内容・口腔内写真のクオリティーなど気を付け準備をして臨みました。日本口腔インプラント学会における専門医試験を意識し、今まで撮影した写真を見返すといかに細かいことに気を配らず撮影していたかという事に気付かされました。今回、とどこおりなく終えることができたとホッとしております。日々の診療をルーティーンで行っている為、あまり意識することがなくなっていた基本的な切開、縫合も見つめ直すことができ、また多種多様なシステムを臨床経験豊富な先生方から勉強さ



せてもらい、100時間の研修を通し、自分自身のインプラント治療に関する幅が広がったと感じております。